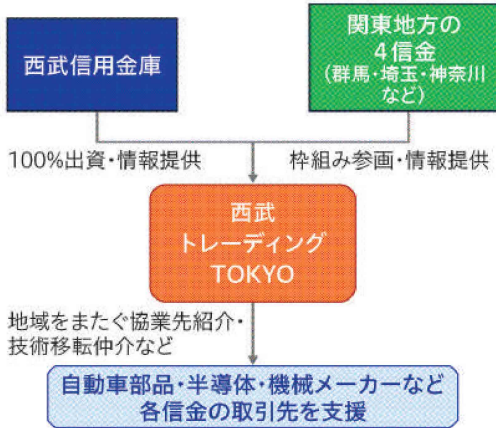


信金連携で製造業支援

西武信金など 中小の受注後押し

信用金庫が地域を超えて顧客である中小の製造業を支援する全国初のネットワークが発足する。都内や多摩地域が地盤の西武信用金庫（東京都中野区）と、同社子会社である地域商社が2025年度内にも創設する連携の枠組みに、自動車産業などの集積地である群馬や埼玉、神奈川県など関東地方の四つの信用金庫が参画を検討している。地域金融機関ならではの顧客企業との緊密な関係や情報網を広域化し、域外企業との協業や受注獲得につなげ、「本業支援」を目指す。

信金が地域の枠を超えて取引先を支援



西武信用金庫と100%子会社の西武トレーディングTOKYO（東京都中野区）が「ものづくりネットワーク Shinkin-JAPAN（仮称）」として25年度にも創設する。参画を検討する信用金庫はいずれも取引先に自動車部品や半導体、機械など製造業が多い。まずは関東地方の5信金と地域商社に

よる連携の枠組みを作
り、製造業が集積する
全国各地の信用金庫に
参画を呼びかける。
今後、それぞれの信
金の取引先が他地域と
の協業に踏み出すた
め、マッチングや製造
委託、技術移転のほか、
大手企業からの受注獲
得など継続的な取引に
つなげるための支援策
を具体化する。
取り組みの背景には
信用金庫による出資規
制緩和がある。21年に
信用金庫法が改正さ
れ、一定の条件を満た
す地域商社を子会社と
して保有できるように
なり、地元企業の販路
拡大などを後押ししや
すくなった。
関西や東海地方など
を中心に、これまでに
設立された信用金庫発
の地域商社は農産品な
ど地域資源の販路開拓
が中心だった。これに
対し、西武信用金庫が
25年夏に設立した地域
商社は、地域商材の販
路拡大に加え、モノづ
くり企業の支援にも軸
足を置いている点に特
徴がある。西武トレー
ディングTOKYOの
長澤貴淑社長は、高市
早苗政権が掲げる地方
に投資を呼び込む「産
業クラスター戦略」に
も呼応し、「今回の枠
組みを発展したい」と
意欲を示している。